

広島県商工労働局補助金等審査会 新たな価値づくり研究開発支援部会 議事要旨

広島県商工労働局補助金等審査会
新たな価値づくり研究開発支援部会

1 書類審査について

(1) 会議の概要

開催日時	令和6年3月4日(月)～令和6年3月11日(月)
開催方法	書面
議題	ヒアリング審査の対象事業の選考
出席委員 (5名)	A委員(大学教授)、B委員(大学特任教授)、C委員(大学特任准教授)、D委員(合同会社代表)、E委員(広島県商工労働局イノベーション推進チーム担当課長)
担当部署	広島県商工労働局イノベーション推進チーム新産業支援グループ

(2) 新たな価値づくり研究開発支援補助金の事業計画書等の書類審査

補助要件を満たす23件の申請があり、書類審査を実施した。委員の評価点の平均が高い上位13件をヒアリング審査の対象事業として選考した。

	評価項目					合計	平均	選考結果	
	採択基準 (適・否)	事業性評価基準 (開発能力)	事業性評価基準 (事業化実現可能性)	事業性評価基準 (県内の波及効果)	県内事業化基準 (実施場所)				
配点	適・否	30	25	15	10	80	16		
申請者	a	適	27	18	11	10	66	13.2	○
	b	否	19	15	12	10	56	11.2	選外
	c	適	28	20	13	10	71	14.2	○
	d	適	27	21	12	7	67	13.4	○
	e	適	22	17	10	10	59	11.8	選外
	f	適	21	17	10	10	58	11.6	選外
	g	適	30	21	14	10	75	15	○
	h	適	16	13	9	10	48	9.6	選外
	i	適	22	15	12	10	59	11.8	選外
	j	適	26	20	13	10	69	13.8	○
	k	適	19	15	12	10	56	11.2	選外
	l	適	23	18	13	10	64	12.8	○
	m	適	23	16	12	9	60	12	○
n	適	18	12	7	10	47	9.4	選外	
o	適	25	20	13	10	68	13.6	○	
p	適	23	17	10	10	60	12	○	
q	適	28	22	13	10	73	14.6	○	
r	適	21	17	13	8	59	11.8	選外	
s	適	26	20	12	10	68	13.6	○	

t	適	29	20	14	10	73	14.6	○
u	適	19	15	12	10	56	11.2	選外
v	適	18	15	10	10	53	10.6	選外
w	適	26	19	14	10	69	13.8	○

委員からは次のような意見があった。(選外事業)

申請者	意見
b	DX を活用した新規事業への挑戦であり意義のあるテーマであるが、全体的に概念や抽象的表現が多く、具体技術への落とし込みが十分とは受け取れなかった。また新規性の点で優位性が認められなかった。
e	社会課題の解決につながるテーマで、技術は信頼できるが、目標値設定が不明瞭で開発スケジュールに懸念があった。また波及効果の点で優位性が認められなかった。
f	期待できる技術であるが、定量的な開発目標となっておらず、また波及効果の点で優位性が認められなかった。
h	全体的に定性的な内容と受け取れる。目指す製品の具体性が明確でなく、目標とする機能が実現できるか不明瞭との判断となった。
i	技術は信頼でき、市場獲得も期待できる。一方当該開発には多くの改善点が予想されるが、開発スケジュールが十分とは受け取れず、実現性が低いとの評価となった。
k	技術は信頼できるが、目標値が定量化されていない。また装置導入が主体の内容で、新規性や独創性の点で優位性が認められなかった。
n	技術は信頼でき、目標設定も明確である。ただし従来技術からの新規性や、開発における具体的な課題や解決策が十分に読み取れないとの判断となった。
r	新たな市場獲得の可能性があり、開発コンセプトも良かった。ただし本提案では主要な部分が他社技術である点は課題であり、また新規性の点で優位性が認められなかった。
u	CN の観点からも重要な提案であるが、主要な技術は他社のものであり、また目標値設定が明確でないとの判断となった。
v	重要な提案で、発想はユニークである。目標値設定が明瞭でなく、波及効果の点で優位性が認められなかった。

2 ヒアリング審査について

(1) 会議の概要

開催日時	令和6年3月21日(木) 9:40~17:00
開催方法	WEB (ZOOM)
議題	新たな価値づくり研究開発支援補助金の採択予定事業の選定
出席委員 (5名)	A委員(大学教授)、B委員(大学特任教授)、C委員(大学特任准教授)、D委員(合同会社代表)、E委員(広島県商工労働局イノベーション推進チーム担当課長)
担当部署	広島県商工労働局イノベーション推進チーム新産業支援グループ

(2) 新たな価値づくり研究開発支援補助金に係る事業計画書の審査

書類審査を通過した13件を対象として、ヒアリング審査を実施した。委員の評価点の平均が高いものから順に、予算額の範囲内で採択予定事業として11件を選定した。

	評価項目						合計	平均点	採択 予定	
	採択基準 (適・否)	事業性評価基準 (開発能力)	事業性評価基 準 (事業化実現可能性)	事業性評価基準 (県内への波及効果)	県内事業化基準 (実施場所)	その 他				
配点	適・否	85	85	65	20	5	260	52		
申請者	a	適	65	65	57	20	0	207	41.4	○
	c	適	70	65	51	20	5	211	42.2	○
	d	適	73	73	44	7	5	202	40.4	○
	g	適	78	73	56	15	0	222	44.4	○
	j	適	69	67	48	20	0	204	40.8	○
	l	適	64	62	47	20	0	193	38.6	予算超過
	m	適	65	55	46	18	5	189	37.8	予算超過
	o	適	66	66	47	20	5	204	40.8	○
	p	適	67	67	45	20	0	199	39.8	○
	q	適	71	73	51	20	5	220	44	○
	s	適	65	66	49	20	5	205	41	○
	t	適	73	73	53	20	5	224	44.8	○
	w	適	72	72	51	15	0	210	42	○

委員からは次のような意見があった。

申請者	意見
a	<ul style="list-style-type: none"> ・DXの先進事例となり得る有望テーマであると認められる。 ・環境に負荷が少ない新規技術を開発する点では優れた重要な提案であるが、開発項目が多く整理した方がよい。
c	<ul style="list-style-type: none"> ・独自の技術を基に新規技術を開発する内容で、地域も巻き込んだ優れた提案である。 ・価格にもよるが、注目を浴びる製品になる可能性がある。 ・機能面からの取組は理解できる。一方、製品が市場で受け入れられるための取組内容の技術的説明がもう少し欲しい。
d	<ul style="list-style-type: none"> ・自社のノウハウと専門分野を取り込んだ新たな展開を目指した優れた提案である。 ・ベンチマークもしっかりと行っており、事業化した際の相応のインパクトも見込まれる。 ・技術は期待できるが、目標値設定が明確でなく、製品化まで暫くかかると思われる。
g	<ul style="list-style-type: none"> ・技術は信頼でき、目標値設定も明確である。 ・欧州の規制への対応が求められる中、CO2削減とコスト低減をトレードオンさせる有望なテーマ。事業化した際のインパクトも大きい。
j	<ul style="list-style-type: none"> ・技術は信頼でき、目標値設定も明確である。適用分野を広げると大きな波及効果も望める。 ・課題、解決策ともよく検討されている。取り組みテーマも環境への影響を大きく改善できる技術として注目できる。
l	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズは高いと認められることや、特許技術を基にした実用化開発であること、既に引き合いもあること等から、有望なテーマ。 ・技術は信頼できるが、開発目標が明確でない。 ・システムの技術課題の難易度がよく理解できなかった。

m	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズは高く、CNにも貢献するテーマ。開発構想も具体性があり、事業化後の効果も大きい。 ・技術は重要であるが、大量生産に利用するための課題があると思われる。 ・着目点がいいと思うが、肝心の材料の開発はどのように実行するのかわからない。数値目標や数値検証結果がなく、実現性が判断できない。
o	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の需要が見込まれ、研究開発を実施しておくことは重要である。 ・研究する製品の市場は成長が見込まれており、市場参入に向け、県外企業の技術を導入し、県内企業が事業化することの意義は大きいと考える。ただ、開発目標が定量的でない点が気になる。
p	<ul style="list-style-type: none"> ・技術は信頼でき、目標値設定も明確である。 ・新規製品を開発するためには、新規装置開発は重要である。今後は海外企業の需要も見込まれることから、優れた提案であると評価できる。
q	<ul style="list-style-type: none"> ・技術は信頼でき、目標値設定も明確である。装置の需要の伸びはしばらく続くと思われ、市場獲得、波及効果も期待できる。 ・技術課題とそれを解決するための新規設備の必要性が明確化できており実現性に期待が持てる。
s	<ul style="list-style-type: none"> ・市場獲得、波及効果も期待できる。装置の電動化を目指した内容で、今後の需要も拡大することが見込まれる提案であると思われる。 ・非常に内容が論理的で理解しやすい計画書。目標も定量的で、しっかり設計・検討されていることが判る。
t	<ul style="list-style-type: none"> ・技術は信頼でき、目標値設定も明確である。 ・他補助金での成果も見えてきており、事業化に向けての提案であって、CNの観点からも重要な技術開発であると評価できる。 ・研究連携により幅広い視野で開発が進められ、期待度は高いが、価格面で販売に苦戦する可能性がある。
w	<ul style="list-style-type: none"> ・時代のニーズに応える商品開発は重要度が高く、評価が高い。より幅広いニーズに対応できる商品開発が可能になる事を期待する。 ・電動化に向けた新製品開発であり、デジタル化にも貢献するテーマである。大学の研究シーズを活用している点も評価したい。